

地域密着型金融の取組み状況（28年4月～29年3月）

1. 項目	地域の活性化
2. タイトル	地域医療の推進への貢献
3. 動機（経緯）	<p>A社代表者であるB氏は、M県にて介護事業所を4箇所運営しております。当組合は若干ながら取引をしておりました。代表者B氏の地元は、M県でも人口減少・高齢化地域にあります。その為、人工透析を必要としている患者は近隣市町村まで自動車で片道約1時間、週3日通っております。地元の知人からそのような状況を聞き、地元で人工透析施設を造りたいと強い思いを持っておりました。地元で医療法人を設立するにあたり手を尽くしておりましたが、取引のあるメイン銀行に融資申し込みを渋られ資金調達が困難になっておりました。そのような中、当組合の担当者が訪問した際に代表者より相談がありました。</p>
4. 取組み内容	<p>当組合にとっては医療法人の新設に伴う融資は初めてでありました。その為、人工透析や医療法人の設立手続きを専門家やM県、人工透析施設の建設予定地の自治体等に確認し、当組合もある程度の知識を持った上でB氏とA社作成の事業計画を元に当組合から疑問点を投げかけるなど何度もヒアリングを行いました。さらに建設予定地にも赴き現地視察を行うと共に近隣の人工透析施設まで実際に自動車を走らせるなどの現地調査を詳細に行いました。その際にA社が運営している介護事業所も訪問し、B氏の経営理念が実践されているかを確認致しました。人口減少地域であるため今後の将来性には疑問がございましたが、このような調査により事業の必要性等を確認致しました。建設予定地を担保としたもののA社の事業性及びA社のみでなくB氏の経営するグループを含めて評価する事で人工透析施設新築工事代金を応需致しました。</p>
5. 成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>人口減少地域にて医療を提供したいとの強い思いがございましたが、メイン銀行から良い返事が無かったものの当組合の資金応需にて代表者の思いの実現に一步を踏み出せたと喜ばれております。また、地域の人工透析利用者をはじめ、地域医療に取り組む行政関係者の方からも非常に喜ばれております。地域としては、本件を足がかりに医療不足が少しでも解消することに大きな期待をしております。</p> <p>【当行（金庫・組合）にとっての成果】</p> <p>当組合としては、取扱件数の少ない医療法人の新設を経験出来たことにより、今後、融資の業種の幅が広がっていくものと思われれます。</p>

<p>6. 29年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題</p>	<p>【評価】 本件は、高齢化・人口減少が進む地域における医療の新設ということで、評価が難しいものがありましたが、財務内容だけに捉われない調査をすることで資金応需し、地域医療に貢献出来た事は評価できるものと思われます。</p> <p>【今後の課題】 今後、全国的に人口減少が進みます。名古屋市などの大都市とその周辺市町村以外の地域は高齢化・人口減少が顕著になってくるものと予想されます。そのような地域に当組合がどのような貢献が出来るかが今後の課題であるといえます。</p>
--------------------------------------	--

1. 項目	中小企業の経営支援
2. タイトル	就労継続支援業に対する創業支援
3. 動機（経緯）	<p>D社の代表者は、学卒後福祉事業に従事しておりました。勤務先であるE社が営んでいた障がい者支援事業所のひとつであるカフェから撤退する事となりました。D社代表者は、自身の経験から障がい者支援事業所の必要性を痛切に感じていたことから、自ら法人を設立しD社からカフェ事業を引き継ぐ事を決意致しました。しかしながら、代表者に事業経験が無い事から資金調達先が見つからず、F税理士に相談したところ、当組合を紹介され申し込みとなりました。当組合とF税理士とは、以前より取引を通じて信頼関係が構築されておりました。</p>
4. 取組み内容	<p>代表者より相談を受け、事業計画の提出を受けました。就労継続支援事業であるため、就労支援が主目的であることから利益はあまり重視されていない計画でありました。その為、代表者と経営理念など含めてヒアリング・コンサルティングを行いながら必要な利益を確保する事業計画を代表者が再度策定致しました。当組合としては、就労継続支援事業は始めてであった為、専門家などに就労継続支援事業の仕組みや現況などのレクチャーを受けるなどして理解を深めました。さらに開業予定であるカフェへ赴き、物件や周辺状況及び近隣の競合店など現地調査を詳細に行いました。本件は、代表者には担保となるべき所有資産が無かった為、事業の必要性・公共性・成長性などから融資の可否判断し、開業に関する運転資金を応需致しました。開業後は、富裕層の集まる地区に立地しているお洒落なカフェである事から主婦層や若者に人気の店となっております。清潔感溢れ、アットホームな店舗であることから入所者にも人気が高く、入所希望者も増加しております。</p>
5. 成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】 取引金融機関が支援しなかった事で、代表者の当初描いていたプランが頓挫しかけていましたが、当組合の資金応需により創業出来、大変喜ばれております。同時に働く場が無くならず当事業所で働いている方にも喜ばれております。</p> <p>【当行（金庫・組合）にとっての成果】 障がい者支援の為の就労継続支援事業と言う事で、いわゆる「商売」としてみた場合、融資審査には難しさがある業種であります。当組合としても経験の無い分野であった事からこの業界の調査を詳細に行い、融資実行まで出来た事は貴重な経験であります。また、日頃の当組合の得意先の活動により築いた信頼関係によりお客様を紹介して頂いたことも得意先活動の大きな成果であるといえます。</p>

<p>6. 29年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題</p>	<p>【評価】 業種的には今後も取扱は少ないと考えられますが、過去の財務内容だけでなく、代表者のヒアリング等を通じて定性情報等を獲得・分析したことにより融資が実行できました。また、その過程で代表者とも信頼関係が構築できたものと思われます。</p> <p>【今後の課題】 本件は、いわゆる事業性評価に基づく融資であると考えております。今後もこのような事業性評価による融資を如何に増やしていけるかが課題であると思われます。また、資金応需だけでなく創業後の支援をいかに続けていくかも課題になってくるものと思われます。</p>
--------------------------------------	---